

# 平成30年度 第1回天理市総合教育会議

日 時 平成30年8月3日（金）10時30分～

場 所 天理市役所地下B31会議室

## 次 第

○開 会

○市長挨拶

○案 件

1. 平成30年度の総合教育会議について
2. 基礎学力の向上～県の学力・学習状況調査結果を踏まえて～
3. 不登校対策について

○閉 会

### <資料>

- 平成30年度の総合教育会議について（P1）
- 基礎学力の向上に関する資料（P2～9）
- 不登校対策に関する資料（P10～15）

# 平成30年度以降の総合教育会議について

## <課題>

### ① 総合教育会議は教育大綱の進捗管理が本来的な役割ではない

⇒ 従前は、小さな項目についての議論が多かったが、総合教育会議はもっと大きな教育課題について対応方法を議論するとともに、当該課題の解決に向けて市長と教育委員会の権限事項の調整・協議を行うべき会議である。

### ② テーマが多すぎて実質的な議論ができない

⇒ 従前は、大綱の進捗管理をメインに据え、総合戦略関連の取組みについてもテーマとしていたため、総合教育会議で取り扱うテーマの数が多く、個々のテーマについて深掘した実質的な議論になりにくい。



## <平成30年度第1回総合教育会議のテーマ>

- ① 基礎学力の向上～県の学力・学習状況調査結果を踏まえて～
- ② 不登校対策について

## <平成30年度第2回総合教育会議のテーマ>

- ③ 地域と学校について
- ④ 平成30年度の教育大綱に基づく主な取組状況について

※ 保幼小中連携や自尊感情を高める取組み等は、各テーマにおいて議論が可能。

※ 各テーマの議論を受け、来年度第1回・第2回の総合教育会議で検証を行います。

# 基礎学力の向上に関する資料

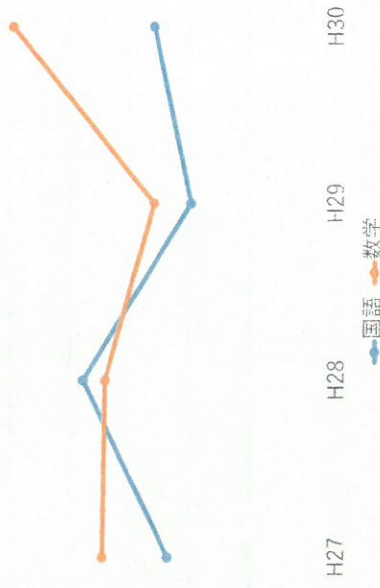
## 平成30年度 第1回天理市教育総合会議

基礎学力の向上

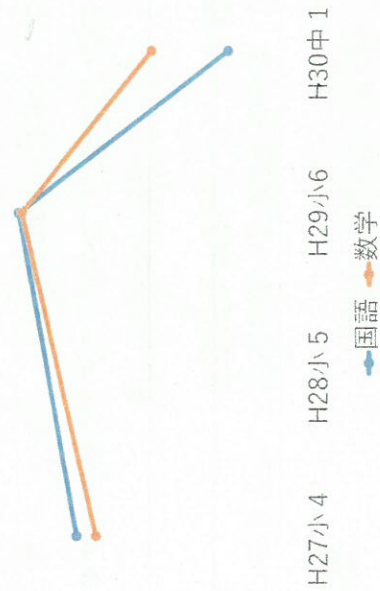
～県の学力・学習状況調査結果を踏まえて～

平成30年8月3日

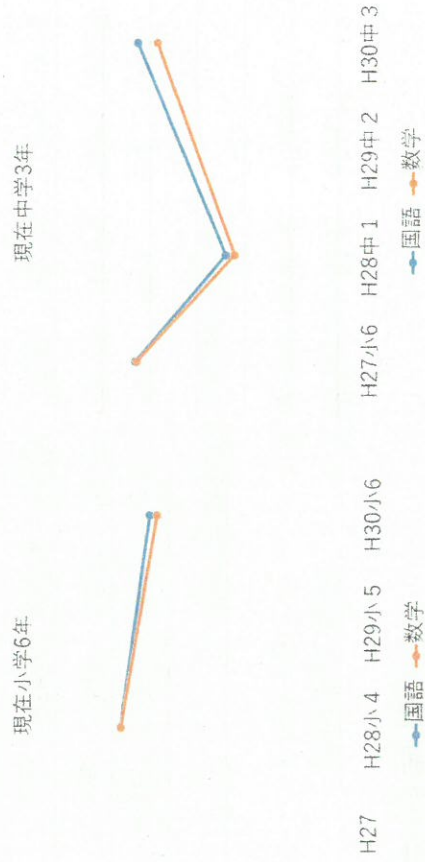
### 中学1年県学力・学習状況調査成績推移



### 現在中学1年生の学力推移



### 同一集団の学力推移



## 学習習慣

平日の家庭学習 天理市の小学生3年生以上 約6%  
0時間 天理市の中学生 約10%

		平日勉強時間0の割合						
年度		小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
H27		5.1%	4.4%	4.4%	10.9%	2.9%	1.8%	25.9%
H28		6.3%	7.0%	4.1%	4.7%	16.4%	19.1%	6.9%
H29		8.6%	5.6%	3.3%	7.0%	9.1%	16.4%	8.9%
H30					4.8%	13.1%		11.6%

## 学習習慣

計画的に勉強 天理市の小学生 約62%  
している 天理市の中学生 約45%

		自分で計画を立てて勉強している						
年度		小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
H28		72.2%	69.6%	50.3%	61.9%	41.8%	38.4%	54.5%
H29		63.6%	61.5%	64.2%	52.8%	48.7%	41.8%	46.6%
H30					62.3%	45.4%		43.7%

## 学習習慣

家で、学校の 天理市の小学生 約46%  
授業の復習をしている 天理市の中学生 約37%

		家で、学校の授業の復習をしている						
年度		小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3
H28		49.4%	49.2%	38.3%	46.9%	38.6%	28.8%	42.3%
H29		48.4%	44.4%	52.5%	40.5%	42.8%	36.4%	36.5%
H30					54.5%	48.5%		43.6%

## 家庭学習習慣の確立

- 適切な宿題・課題を与える
- 同じ場所、同じ時刻、同じ時間
- 家庭学習1時間
- 計画的に学習する
- 復習する
- 勉強時間0を減らす

## 自己肯定感

自分には 良いところがある	天理市の小学生				天理市の中学生				
	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3		
自分には、良いところがあると思う。									
H27	78.7%	72.0%	73.4%	63.0%	58.6%	51.3%	63.4%	約72% 約60%	
H28	74.5%	75.4%	67.2%	70.6%	58.0%	61.3%	60.6%		
H29	71.9%	68.2%	74.6%	65.8%	68.2%	60.7%	63.6%		
H30	79.0%							68.6%	72.3%

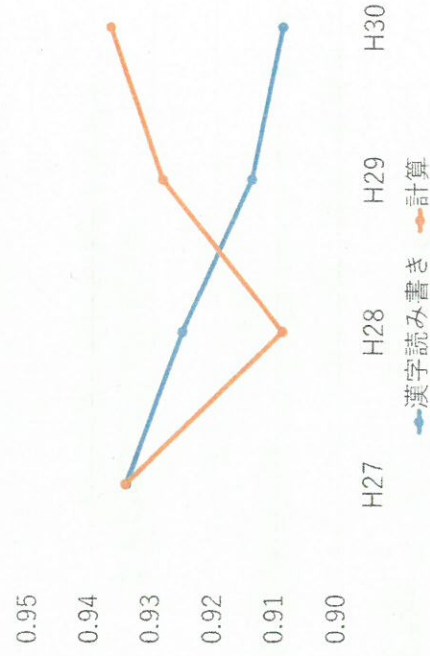
## 自己肯定感

自分、先生から 認められていると思う	天理市の小学生				天理市の中学生				
	3年	4年	5年	6年	中1	中2	中3		
自分は、先生から認められていると思う。									
H27	62.6%	61.2%	67.7%	59.0%	55.9%	51.3%	51.5%	約65% 約57%	
H28	67.0%	68.2%	62.7%	70.7%	55.8%	59.0%	58.4%		
H29	67.0%	61.0%	69.8%	61.4%	62.9%	56.3%	62.4%		
H30	79.5%							63.5%	74.6%

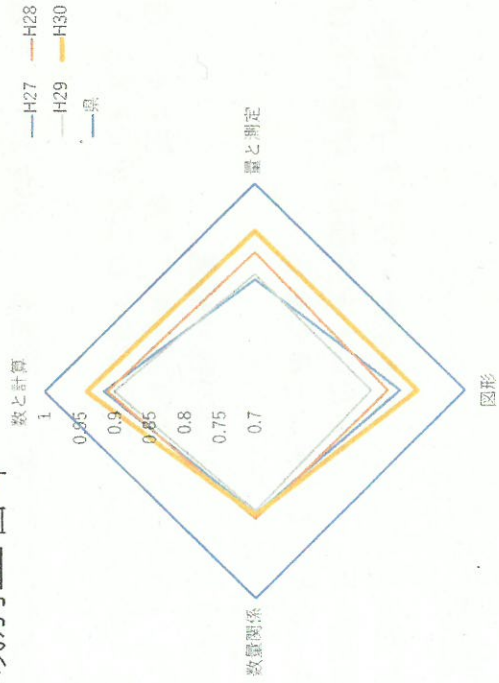
## 自己肯定感

- 子ども達が互いに尊重し、よさを認め合える学級集団
- ・よさを認める ・努力したことを評価し、学級に広げる
  - ・集団の一員としての意識を持たせる
- 各教科指導の中で育てる
- ・指導方法の工夫 ・学習内容の精選
- 「できた」「分かった」と実感を持てたり、先生や友達に「認めてもらった」、「友達に教えることができた」
- 学校生活の中で
- ・清掃活動や委員会活動 ・部活動 ・ボランティア活動
  - ・児童会・生徒会 ・職場体験 ・キャンプ 等

## 中1 漢字の読み書きと計算力



# 数学 領域別正答率

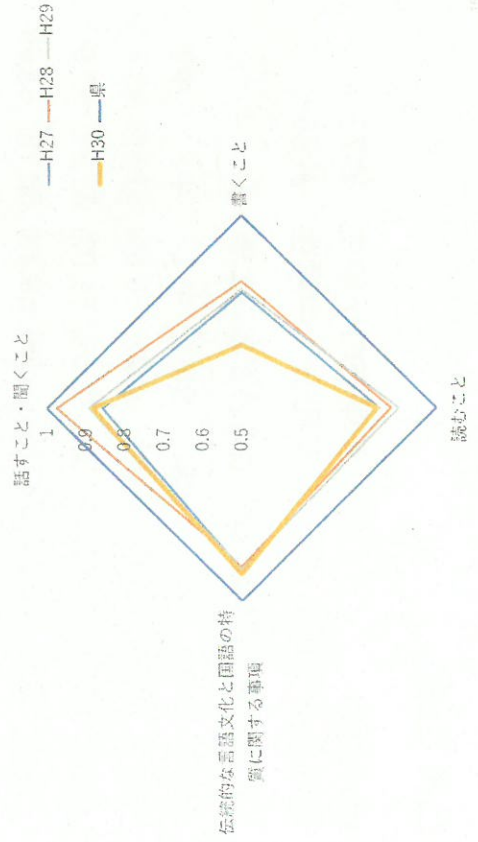


# 算数

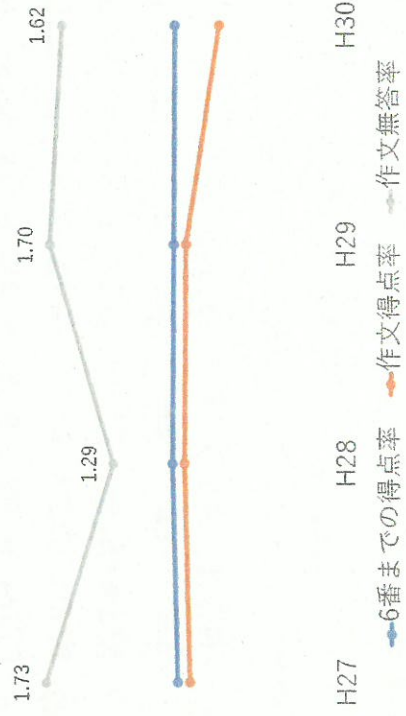
- 場合の数 順列 組合せ
  - 比の値 2:7 2/7 を 7/2 と勘違い
  - グラフ
- ## 6年履修内容

計算問題の正答率を高める  
四則計算の規則を理解させ練習

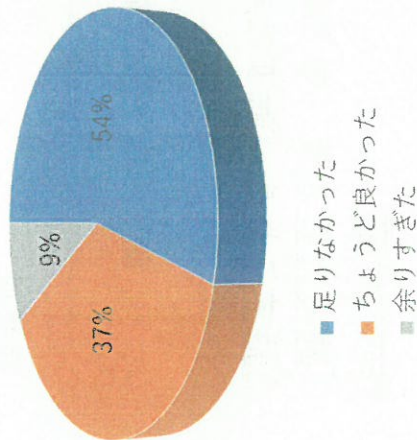
# 国語 領域別正答率



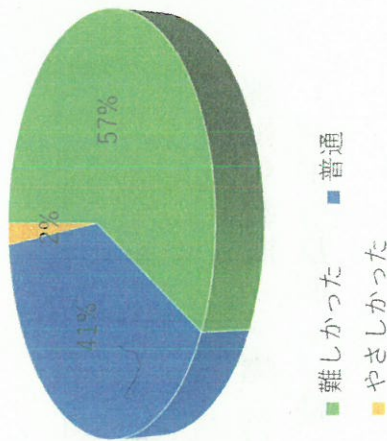
# 作文の無答に関して 県との比較 市/県



問1 試験時間について



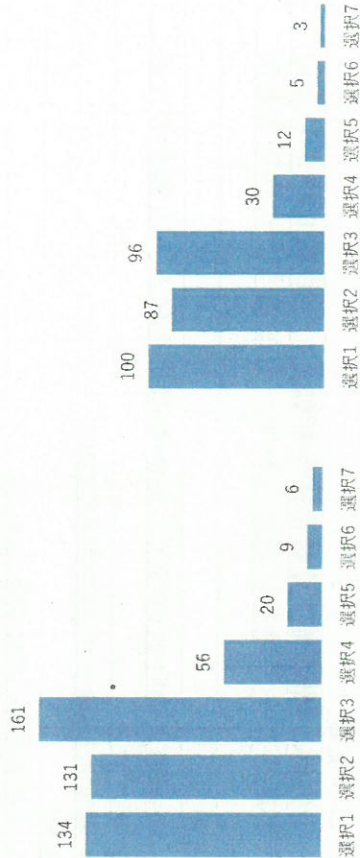
問2 問題の難易度について



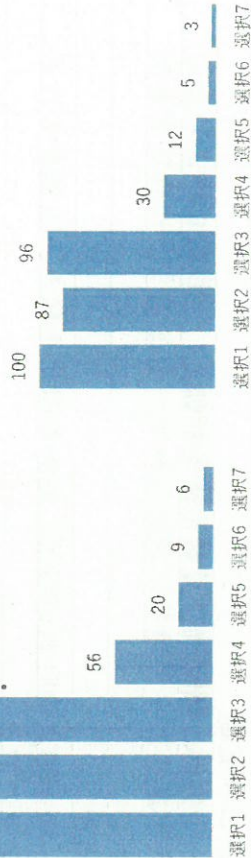
#### 問4 その他 記述解答 原文のまま

- 難しかったから
- 読解力がついていないから
- ちよつとわからなかった
- まったくわからなかった
- 時間が無かった
- 覚えてない
- 空白がない気もするから「あった」にした
- 書く問題は書くのに時間がすこしかかるからあとまわしにした
- ら時間がなくなった。
- バカだから
- 聞いたか、わからなかったため
- 数学が、きちんとした計算方法を学べなかったの、やり方が分らない部分があった。(一部分ですが)

#### 修正前



#### 修正後



選択1	選択2	選択3	選択4	選択5	選択6	選択7
時間が足らなかつた	問題の意味がわからなかつた	答えがわからなかつた	答えに自信がなかつた	文章を書くのが嫌いだから	面倒くさかつた	その他

#### 「作文」(書くこと)の正答率が低い

- 最後の設問なので、時間切れになった。  
過去問をしたり、時間制限してテストをしたりする経験の積み重ねが必要
- きちんと書くことに慣れていないから、書けない。  
「読むこと」の単元学習が多いが、「書くこと」の単元は少ない。少ないからこそ、「書くこと」の単元できちんと「書く力」を付ける必要がある。
- 書くこと自体に慣れていない。  
日常的に書く活動(授業の振り返りをノートに記す・考えたことを書いて交流する活動など)を重視する。書き慣れること・書く時間が保障されていることが大切。

7

「5」列では、学校をとりきめる意味について話し合っている。そこで、ここでは「題字」の欄をきれいに拭きとる。また、A・Bのどちらの意見に賛成か、次のA・Bの意見が用いた「これを減らす」という表現を参考に、自分の考えを述べよう。

A

そう思う理由は、時間的にきれいにするために、大掃除が必要なので、掃除のよい方法を考える加減が身につく、という意見があと述べています。

B

そう思う理由は、みんながきれいに掃除してほしいにすぎないので、掃除のやり方を考える、という意見があると思います。

〈指導要領〉

- ① 三段落構成で書く。
- ② 第1段落には、A・Bのどちらの意見に賛成か、その理由を書く。
- ③ 第2段落には、その立場をとった「理由」を、自分の体験を入れて書く。
- ④ 第3段落には、「まとめ」を書く。
- ⑤ 8行以上、9行以内（141字以上、180字以内）で書く。
- ⑥ 題字の欄には、教科書の使い方や、筆、紙などに注意し、書く。

書く内容	県	市	自校	自校無答率
①三段落構成で書く	36.8	19.3	31.3	
②第1段落に、A・Bどちらの意見に賛成か、「自分の立場」を書く。	38.1	21.5	31.3	
③第2段落に、その立場をとった「理由」を、自分の体験を入れて書く。	62.3	42.3	62.5	31.3
④第3段落に、「まとめ」を書く。	39.8	24.0	18.8	
⑤8行以上、9行以内（141字以上、180字以内）で書く。	42.6	25.0	50.0	

## 作文対策

「読んだことを（もとに）書く」活動の充実  
 「話すことを（話すために）書く」活動の充実

書く活動を積極的に授業に取り入れる

### 指導例

100マス作文 新聞記事を読んで意見をまとめる  
 マス目ノートの使用

### 学習習慣

・適切な宿題・課題を与え、「計画的に学習する」・「復習をする」の肯定率の割合を高める。勉強時間0を減らす  
 自己肯定感

・先生が、積極的に児童生徒を評価し、「自分にはよいところがある」・「先生に認められていると思う」の肯定率を高める

### 国語

・なぜ作文の白紙が増加したかの原因を探り、文章をかけるようにする

・漢字の読書きの正答率を高める

### 算数

・計算問題の正答率を高める



奈良県学力学習状況調査に関するアンケート

天理市教育委員会

4月17日に実施した奈良県学力学習状況調査についてのアンケートです。今後の指導に生かすためのものですのでありのままを教えてください。

1年 組 番 氏名 \_\_\_\_\_

問1. 試験時間について

- ① 足りなかった
- ② ちょうど良かった
- ③ 余りすぎた

問2. 問題について

- ① 難しかった
- ② 普通
- ③ やさしかった

問3. 記述式の問題で答えなかった問題（空白）はありましたか

- ① あった
- ② 無い

問4. 問3で①「あった」と答えた人に聞きます。

答えなかった（答えられなかった）理由は何ですか。（複数回答可）

- ① 時間が足りなかったため
- ② 問題の意味が分からなかったから
- ③ 答えが分からなかったから
- ④ 答えに自信が無かったから
- ⑤ 文章を書くのが嫌いだから
- ⑥ 面倒くさかったから
- ⑦ その他（下の口に自由に教えてください）

一年一組では、学校でそうじをする意味について話し合っています。そこで、そうじには「勉強する環境かんきょうをきれいに保つ」という意味以外に、どんな意味があるかを考えたところ、次のAとBの意見が出ました。これらを読み、下の〈注意する点〉に従って、あなたの考えを書きなさい。

㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘

A

そうじをするときは、時間内できれいにするために工夫くわをする必要があるので、効率のよい方法を考える知恵ちえが身につく、という意味があると思います。

B

そうじをするときは、みんなで力を合わせてしなければきれいにならないので、仲間と協力する心が育つ、という意味があると思います。

### 〈注意する点〉

- ① 三段落構成とすること。
- ② 第一段落には、AとBのどちらの意見に賛成か、「あなたの立場」を書くこと。
- ③ 第二段落には、その立場をとった「理由」を、自分の体験（見たことや聞いたことなども含む）を具体的に入れて書くこと。
- ④ 第三段落には、「まとめ」を書くこと。
- ⑤ 八行以上、九行以内（二四一字以上、一八〇字以内）で書くこと。
- ⑥ 題名や名前は書かず、原稿用紙の使い方や、誤字・脱字だつじに注意して書くこと。

答えは解答用紙に書きなさい。

# 不登校対策に関する資料

## 天理市総合教育会議

### <不登校対策>

#### <学校での取組>

- なかまづくり（学級・学校全体）  
例：ちくちくことば・ぽかぽかことば  
もちあじを知ろう 安心のルールづくり
- 児童・生徒理解の研修（実態交流）  
例：聴く・きく研修会
- 校内委員会・校内ケース研究  
早期発見・早期対応と情報共有  
児童生徒や保護者に対する対応についての検討
- 家庭訪問（登校を促す朝の訪問や定期的な訪問）

- スクールカウンセラーの活用
  - 小学校：月1～2回6～12時間程度
  - 中学校：月1～4回6～24時間程度
- 不登校傾向児童生徒連携シート  
(小学校から中学校への引継ぎ)
- 別室登校・保健室登校

平成29年度 不登校傾向児童生徒 連携シート 秘

学年	氏名	小学校				中学校				備考
		1	2	3	4	1	2	3	4	
1	山田 太郎									
2	田中 花子									
3	佐藤 健太									
4	鈴木 美咲									
5	高橋 直樹									
6	渡辺 真由									
7	小林 大輔									
8	清水 結衣									
9	山本 拓也									
10	松本 莉奈									
11	石川 悠太									
12	木村 千尋									

不登校傾向児童生徒の状況について、小学校から中学校へ引き継ぎする際の留意事項を記載してください。

1. 不登校の経緯、原因、経過、現在の状況、今後の対応方針等について記載してください。

2. 不登校傾向児童生徒の特性、学習状況、生活状況等について記載してください。

3. 連携シートに記載された事項について、中学校で実施する予定の対応策について記載してください。

4. その他、連携シートに記載されていない事項について記載してください。

連携シートに記載された事項について、中学校で実施する予定の対応策について記載してください。

1. 不登校傾向児童生徒の特性、学習状況、生活状況等について記載してください。

2. 連携シートに記載された事項について、中学校で実施する予定の対応策について記載してください。

3. その他、連携シートに記載されていない事項について記載してください。

<別室登校の市内女子中学生の事例>

[Redacted text block containing multiple lines of blacked-out information]

<まなび推進課・教育総合センター>

- 天理市不登校等支援委員会（年4回）
- スキルアップ研修（不登校）※夏休み  
天理大学 教授 千原雅代  
京都教育大学 教授 内田利広
- 教育総合センターでの教育相談  
（カウンセリング・プレイセラピー）
- 適応指導教室「いちょうの木教室」  
事例：市内小学生
- ゆうフレンド派遣事業

< 事例 >

[REDACTED]

# 不登校傾向児童生徒調査票

作成日 平成30(2018)年 月 日



所属	小学校 中学校	氏名	ふりがな	性別	
クラス	年 組	担任名			

●出席・欠席日数を記入して下さい。

	4月	5月	6月	計
出席				
欠席				

●対象児童生徒の不登校・不登校傾向の改善に向けて、実施している支援について、あてはまる項目に○をつけて下さい。また、その他の支援を実施している場合は、「その他」の欄に記述して下さい。(複数回答可)

学校内での支援	チェック欄
経過を見守る	
個別面談・個別指導	
別室登校	
保健室登校	
放課後登校	
関係教員との共通理解	
教育相談・カウンセリング	

家庭への支援	チェック欄
家庭訪問(本人)	
家庭訪問(保護者)	
電話連絡(本人)	
電話連絡(保護者)	
家庭学習の支援	
保護者との連携	

外部機関の利用	チェック欄
教育総合センター	
医療機関	
県立相談機関	
民間相談機関	
民間フリースクール	

その他

●学校訪問教育相談会及び事例検討会(グループミーティング)の希望について以下の項目に、○をつけて下さい。

- ①児童生徒の理解について、担任教員とカウンセラーとの話し合い(学校訪問教育相談会)を希望する。(はい・いいえ)
- ②児童生徒の理解について、関係者での話し合い(事例検討会(グループミーティング))を希望する。(はい・いいえ)

**学校訪問教育相談会**

夏休みに教育総合センターよりカウンセラーが学校を訪問し、児童生徒の理解について、担任教員と一緒に話し合いをします。

**事例検討会(グループミーティング)**

児童生徒の事例について、よりよい支援、解決に向けて関係者で行うミーティングです。アドバイザーとして教育総合センターの職員や専門の大学教員が協力します。

